

看護スペシャリストの流儀

The Nursing Specialist's Way

がん看護専門看護師



かけがえのない人生に伴走する
- その人らしくあるために -

専門看護師は、問題の緊急性・複雑性、展開の予測などから、自分が直接ケアをした方が良いのか、看護師の力を引き出しながら間接的に関わった方がよいのか総合的に判断し、6つの役割（実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究）を組み立てながら実践しています。現在、私は呼吸器腫瘍科病棟看護師長として、日々スタッフと一緒に、患者さんが治療をしながら自分らしい生活が送れるようセルフマネジメントを高める看護実践と、倫理的な意思決定支援に尽力しています。患者さんががんという病いと共に歩む（生きる）時、その人らしくあるために、自分たちの大切にしたいことを教えて頂きながら私たちは医療の専門家として一緒に考え、患者さんの生き方に謙虚に伴走しています。そして、スタッフが患者さんと伴走するなかで、きらりと光る瞬間が私の原動力となっています。